〔史跡の活用事例〕

「脇本小学校の脇本学（総合的な学習の時間）の取組」

１．学校名	阿久根市立脇本小学校
２．学年・人数	３年　36 人　　５年　38 人　　６年　26 人
３．日時・場所	⑴　学習会等の日時・場所 ・　令和６年１学期 総合的な学習の時間に，松木弘安（寺島宗則）について学習する。 ・　「創立百周年記念誌　脇小百年」の資料や寺島宗則記念館の資料，　インターネット等の情報をもとに調べたことをパンフレットにまとめて相互に発表する。寺島宗則記念館に作成したパンフレットを持参し，館内に掲示するとともに見学者に配布してもらう。 ・　令和６年６月13日（木） 総合的な学習の時間「ふるさとに学ぼう！脇本学」で，寺島会の方を講師にお招きして，寺島宗則の生涯について学習を行った。 ⑵　発表の日時・場所 ・　授業で児童相互に発表し紹介し合う。 ・　学習したことをパンフレットにまとめ，寺島宗則記念館に掲示・配布をする。
４．活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	⑴　名称・時代 松木弘安（寺島宗則）旧家（築180年）・江戸後期 ⑵　特徴 幕末，英国に密航した薩摩スチューデント一行19名のうちの一人。留学生ではなく一行を引率するリーダーとしての参加であった。松木弘安（のちの寺島宗則）は，幼少時から長崎で西洋文化を学び，島津斉彬の右腕として幕末から明治に初めに大活躍した人物である。日本の近代化に尽くした電信の父と呼ばれ，日本の地位を向上させた外交リーダーとして活躍した。 薩摩スチューデント一行 19 名のうち実際に過ごした旧家が現存しているのは，松木弘安だけである。平成 31 年度，築 180 年を超え老朽化した旧家は修復工事が行われ，令和２年４月から開館している。
５．活用の取組において地域との連携や工夫した点等	【地域との連携】 ７月中旬に，寺島会の方が，小中学生を対象にした研究会を開催。本校児童も参加し，寺島宗則について学習し調べた内容を，さらに深めまとめる活動に取り組み，夏休みの自由研究とした。 今後は寺島宗則に関する学習をさらに深めるとともに，中馬大蔵ら郷土の偉人など，地域の歴史や史跡について広げていけるようにしたい。 【工夫した点】 ⑴　総合的な学習の時間の活動計画に，「ふるさとに学ぼう！脇本学」（全14時間）を計画し，活動時間を確保している。 ⑵　寺島会の方から直接説明を受けることで，郷土の歴史に対して理解を深める機会を設けた。 ⑶　学んだことをパンフレットにまとめて外へ発信することで，自分の郷土について知ってもらう喜びを体験できた。

６．取組の様子 （研究発表等）	 【学習の様子】
７．感想・意見 （参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・　寺島宗則が，たくさんの国の言葉を話せたこと，いろんな国，都道府県に行ったこと，たくさん名前が変わったことにびっくりした。 ・　言葉だけでなく，黒板に資料をたくさん貼って説明してくれたので，とてもわかりやすかった。知りたいことがわかった。 ・　自分で調べてわからなかったことを知ることができた。おだやかな性格だと知って，しんぼう強く，夢をあきらめなかったのだと感じた。もっと知りたいと思った。 【教職員】 ・　寺島会の方々が，地図や年表，氏名の変更など，手作りのボードで寺島宗則について詳しく説明してくださいました。事前に，子供たちが，調べ学習の中で解決しきれなかった問いについても，丁寧に教えてくださり，子供たちも真剣に聞いていました。夏休みの自由研究では，さらに寺島宗則について調べ，自分の言葉でまとめる子供たちもいました。校区内に充実した施設があり，寺島会の方がいつでも訪問できる環境を整えてくださっていることに感謝したいです。今後とも活用していきたいと思います。